

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

# 両沼地方稲作情報 第3号

令和元年6月3日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)  
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)  
JA会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店  
(有)山一米穀店、会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区

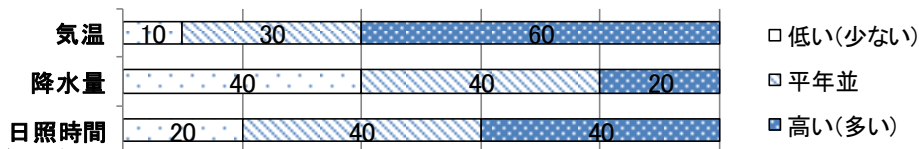
## 1 気象情報(令和元年5月30日 仙台管区气象台発表「東北地方1か月予報」より抜粋) <6月1日~6月30日までの天候見通し>

◆特に注意を要する事項:期間の前半は、少雨の状態が続く所がある見込みです。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



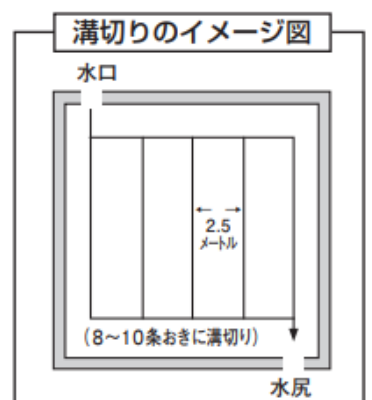
## 2 今後の作業について

- 有効茎数を確保(目安 コシ20本/株 ひとめ25本/株)したら、中干しを行います。
- 中干しは幼穂形成期前には終了しましょう(コシ~7/18 ひとめ~7/16)
- 下流にも水が行くように御協力ください

時期	6月			7月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
生育ステージ	分けつ期			幼穂形成期		
水位	浅水			落水	間断灌水	
作業	除草剤散布			中干し	穂肥	いもち病防除

### 【作業内容】

- ・分けつ期は浅水管理で分けつを促進し、必要茎数を確保しましょう。ただし、ガスがわいて水稻の生育が停滞している場合は、軽く落水してガス抜きを行きましょう。
- ・株当たり20本程度の分けつ(有効茎)を確保したら中干しを行い、無効茎を抑えましょう。中干しの際には、溝切り(2.5m間隔)を行うと、その後の水管理を容易にできます。また、水不足ほ場では、用水の確保状況に応じた水管理を行ってください。
- ・中干しは、幼穂形成期前までに終了し、その後は間断かん水により根を健全に保ちましょう。低温の恐れがある場合は深水にしましょう。
- ・中干しは秋作業に向けた地耐力向上、倒伏防止にもつながります。



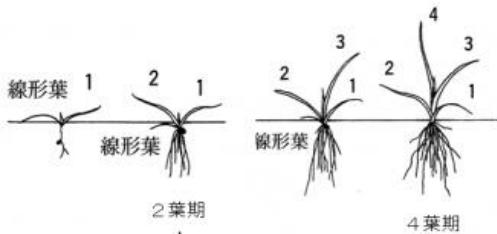
### 3 残草対策

水田に雑草がまだ残っている場合、中期剤、後期剤で早めに除草しましょう。

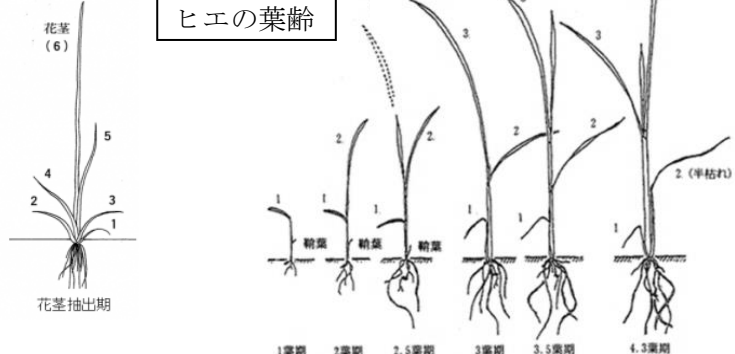
水田に残っている雑草の種類と葉齢を十分に確認し、残草に合った薬剤を適切に使用してください。

イネ科雑草やホタルイが多発すると斑点米カメムシ類を誘引し、斑点米の発生が増えることが懸念されます。しっかりと除草するようにしましょう。

ホタルイの葉



ヒエの葉齢



(出典：日本植物調節剤研究協会 (2002) 除草剤試験の手法(7)-雑草の葉齢の数え方-.植調36(3)、105-110)

### 4 いもち病対策

① 会津での葉いもちの初発は6月下旬です。感染源となる補植用置苗は、早急に処分しましょう。

② 葉いもちの早期発見に努め、病虫害発生予察情報[★]を利用し適期に防除しましょう。福島県病虫害防除所のホームページに「BLASTAM」がありますので確認してください。



★病虫害防除所のURL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

「イネ葉いもち感染好適条件出現状況(BLASTAM)」

③ ほ場内に葉いもちの発生を確認した場合、速やかに散布剤(液剤・粉剤)で防除してください。  
散布剤の例: ブラシン粉剤DL、ビーム粉剤DLなど

④ 田植え時に箱処理剤を処理していない場合、または直播栽培の場合は葉いもち対策として水面施用剤で防除してください。

**農薬を使用する場合、使用基準(適用作物、使用量、使用回数、使用時期等)を遵守しましょう。また、水をしっかり止めましょう(水口・水尻)。**

水の流入、流出、漏れがあると薬剤の効き目も落ち、さらに下流域の水不足を招きます。

**農作業事故が増えています。農作業時の事故に注意してください。  
また、気温が高くなりますので水分を補給して、熱中症にご注意ください**

御不明な点は最寄りの発行元、または普及所までお問い合わせください。